

平成29年度東日本女性漁業士交流会，茨城県にて開催される

10月25日，26日の2日間にわたり，31名の参加者を集め，平成29年度東日本女性漁業士交流会が日立市で開催されました。この交流会は，青森県，岩手県，宮城県，千葉県及び茨城県の女性漁業士が，同じ浜で働く女性の立場で情報交換を行いながら親交を深めることを目的としたもので，各県持ち回りで年1回開催されています。本県での開催は3回目で，25日には水産試験場からも場長が来賓として出席したほか，話題提供として，経営普及室から「茨城の水産業について」と題して本県漁業の特徴を紹介しました。また，グループ毎にテーマを決めて話し合う「グループ討論」では，経営普及室も参加させていただき，女性漁業士の熱心な発言を間近で聴かせていただきました。「漁業後継者対策には，陸回り作業をする女性の後継者育成も考える必要がある」，「想定外のことが起こったとき，漁家を守れるのは女性」など，女性ならではの意見が数多く披露されました。

26日には，同市内の久慈浜丸小漁協の加工場及び久慈地方卸売市場の衛生管理の取り組み状況を視察しました。他県からの参加者は，魚を高く売るために漁協が熱心に加工に取り組んでいることに高い関心を示していたほか，施設面で費用をかけずに衛生管理に取り組めることに驚いている様子でした。両日を通して，参加者からは，「大変有意義な時間になった」との声が挙がっていました。

来年度は，宮城県での開催が予定されています。引き続き，この交流会が女性漁業士にとって有意義な場となり，ますますご活躍されることを期待します。

(経営普及室)



[次回予告] H29.11.28の「水産の窓」は，「秋サバ海況・水産物フェア」を予定しています。